

【参考資料】

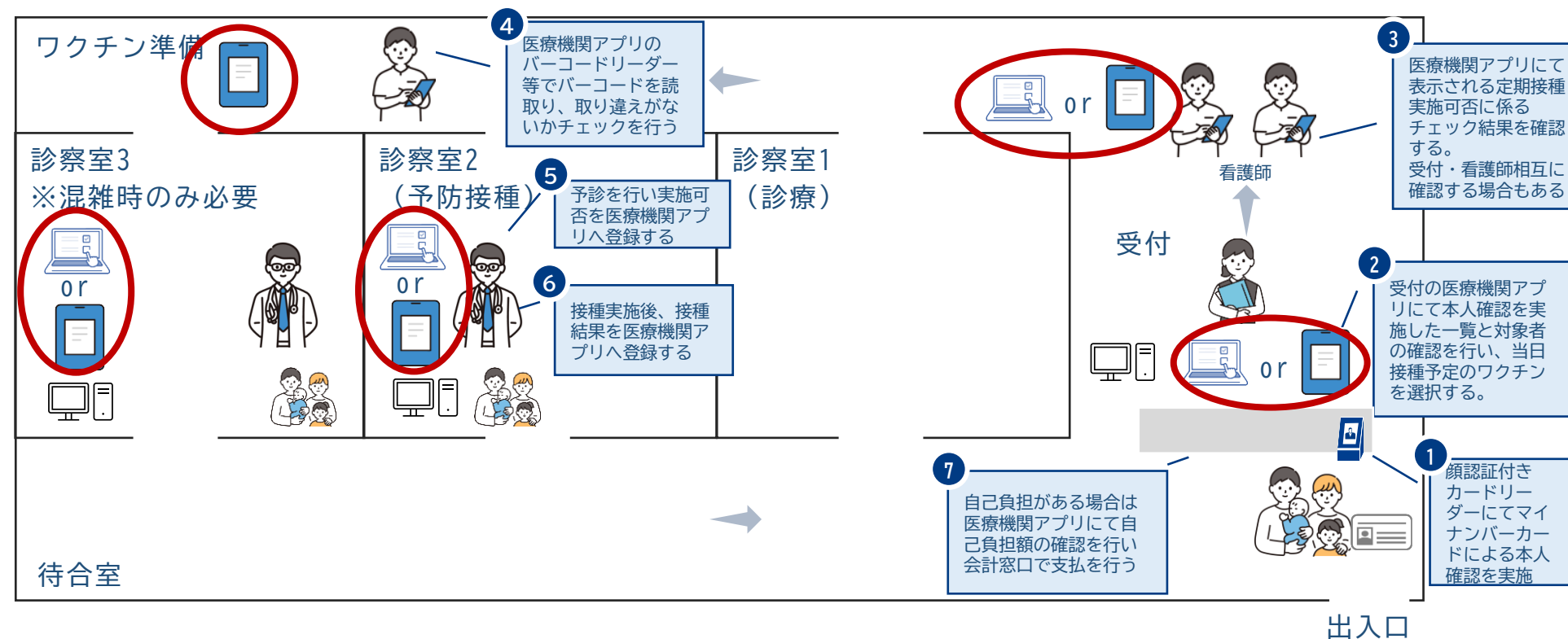
- 医療機関アプリによる運用イメージ
- 予防接種サイトによる運用イメージ

参考(01)

A類×医療機関アプリ（イメージ）

診療所

- ・医療機関アプリを利用するためのインターネット接続端末（タブレット又はPC）を受付2台、ワクチン準備室1台、診察室各1台を配置する。
- ・土曜は予防接種数も増加するため入力業務の負担が大きくなることから、医療機関によってはPC端末でキーボード操作ができた方が効果的である場合も想定されます。

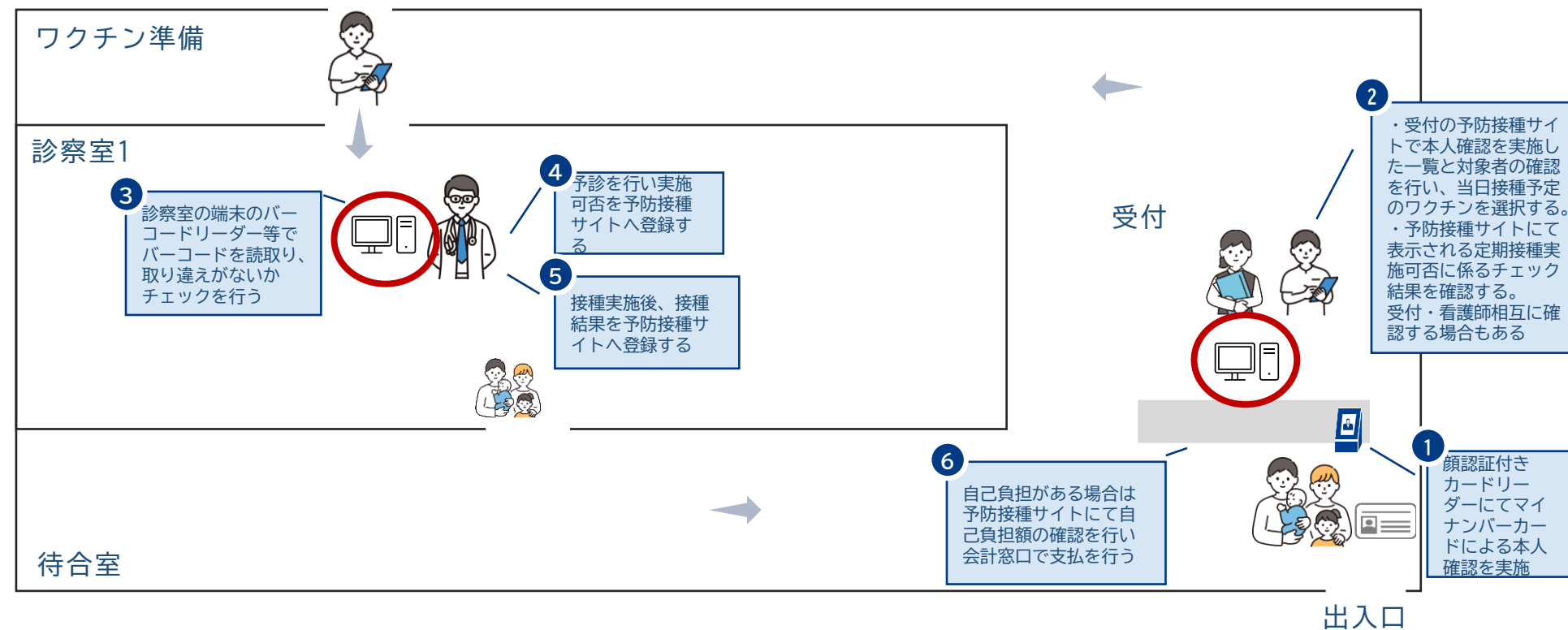


参考(02)

A類×予防接種サイト（イメージ）

診療所

- ・ 予防接種サイトは通常診療で利用している電子カルテ、レセコン等オンライン請求ネットワークに接続された端末を活用いただくことで利用可能です。
- ・ ワクチン準備の際に予防接種サイトの利用可能な端末がない場合、診療室の端末にバーコードリーダーを接続し、バーコードの読取りを行っていただきます。

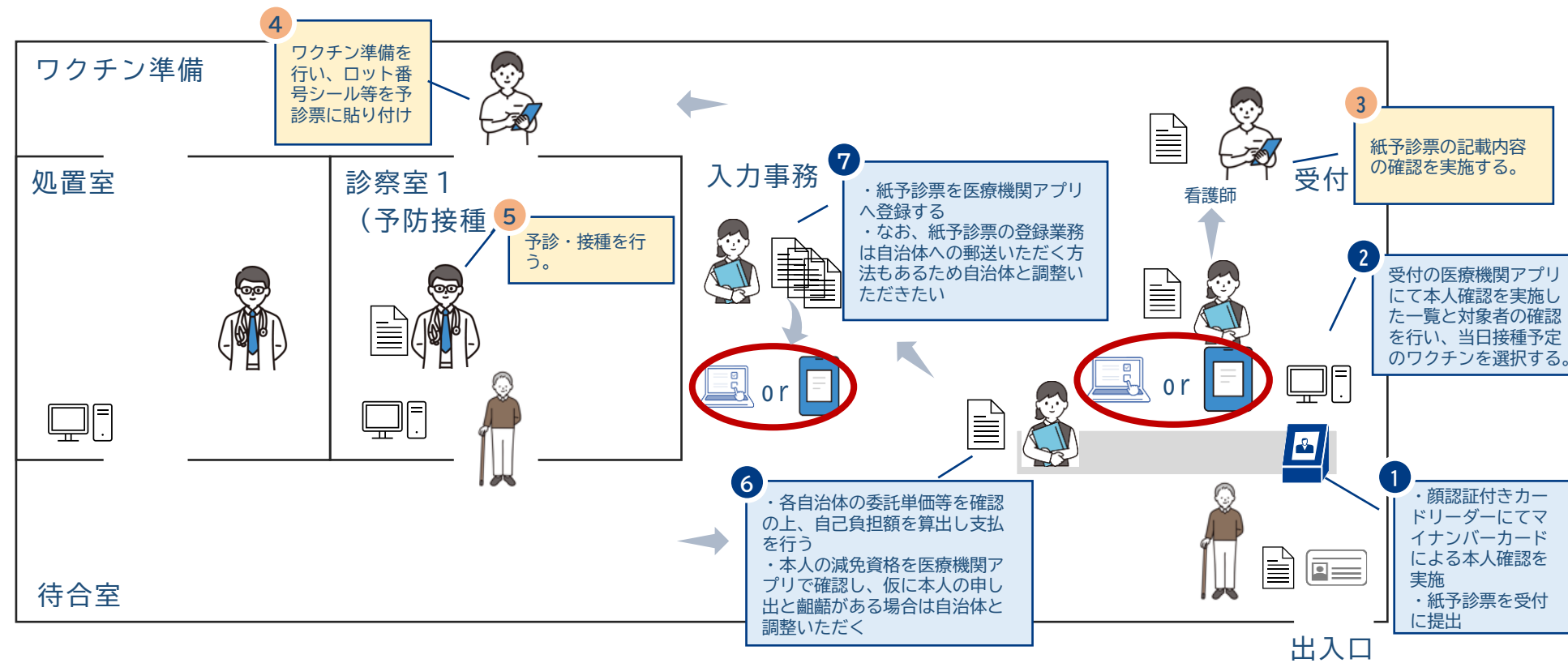


参考(03)

B類（インフル・コロナの場合）×医療機関アプリ（イメージ）

診療所

- ・インフル・コロナワクチンは例年約500件/月程の接種実績となり、通常約200件程度であることから10月～11月のピーク時は倍以上に増加する。
- ・ピーク時などは、例えば、デジタル予診票を印刷し、紙予診票と同じフローとすることが想定される。



参考(04)

B類（インフル・コロナの場合）×予防接種サイト（イメージ）

診療所

- ・インフル・コロナワクチンは例年約500件/月程の接種実績となり、通常約200件程度であることから10月～11月のピーク時は倍以上に増加する。
- ・ピーク時などは、例えば、デジタル予診票を印刷し、紙予診票と同じフローとすることが想定される。

